

ONSA ニュース

No. 14-3

山口多賀司副会長が旭日小綬章を受章	1
【見学記】実大三次元震動破壊実験施設	3
【寄稿】三味線糸と放射線の関わり(後編)	4
第25回放射線科学研究会報告	6

社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会
〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-3-6
TEL 06-6262-6540, FAX:06-6262-6541
e-mail: onsa1@nifty.com
URL: <http://homepage2.nifty.com/onsa/>
発行:平成17年1月

山口多賀司副会長が旭日小綬章を受章

明けましておめでとうございます。会員の皆様には日頃より協会の活動にご協力頂き誠に有難うございます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年年初にあたって縁起の良いお知らせがあります。当協会の発足時期から副会長として協会の運営にご尽力頂いている山口多賀司氏（非破壊検査株式会社会長）が去る文化の日に、旭日小綬章を受章され、平成16年11月10日受章式と天皇陛下への拝謁が行われました。当協会ならびに会員の皆様にとっても大変喜ばしくまた名誉なことです。



山口多賀司氏は早くから非破壊検査の重要性を認識され、昭和32年6月に非破壊検査株式会社を創立されました。ベンチャービジネスのはしりでした。自ら小型軽量高性能で、放射線安全性の高いイリジウム透過検査装置(本体重量約20kg)を開発され、従来からの過酷な重労働を強いる検査作業を軽快な知的作業に一変させ、かつ従来の工業用エックス線装置では探傷不能であった配管等の狭隘部の検査を可能にさせるなどして、放射線検査だけでなく、超音波、磁気、渦流探傷検査等々の新技術機器を導入され、これらを取り入れた高精度高能率検査システムを確立した功績は多大なものがあります。これらの業績により

- ・ 昭和41年3月20日
プラントメンテナンス賞((社)日本能率協会)
- ・ 昭和59年1月21日
(社)中小企業研究センター賞
- ・ 昭和62年4月17日
科学技術庁長官賞(科学技術振興功績賞)

- 平成12年4月21日
新技術開発功労者賞(大阪府知事)

等を受賞されました。

非破壊検査(株)では、数百台の非破壊検査装置を全国各地に展開しており、野外、高所などの悪環境の場所での使用形態も数多くありますが、放射線や一般安全教育・訓練・安全管理が徹底しており、その功績が認められて科学技術庁長官賞(放射線安全管理功労者事業所)を平成元年11月に受賞されました。

特に高く評価されたのは、非破壊検査業を国民に周知させ、これに関係する技術者に生き甲斐を与えるために、日本産業分類で単なるサービス業に一括されていた非破壊検査業を昭和59年1月10日付で行政管理庁告示により新たに「非破壊検査業」として細分類させた点にあると思われます。加えて非破壊検査(株)の技術者に非破壊検査関連の放射線・超音波、磁気、渦流探傷等々各種技術資格をわが国だけでなく、米、英国など海外の資格も取得させることにより、一人多役の技術者集団を作り上げ、公正で権威ある第三者検査機関としての機能を確立されました。それにより事業は新幹線の根幹をなす世界初の溶接レールの施工検査をはじめ、石油・ガス化学プラント、原子力・水力・火力等エネルギープラント、青森県六ヶ所村原燃再処理プラントから、船舶、橋梁、橋脚、ビル等々多岐にわたり、信頼性の高い検査を必要とするものの多くを対象として実施してきました。最近では阪神大震災におけるコンクリート構造物の耐震検査や東京電力原子力発電所の全面再検査の大半を非破壊検査(株)が担当しています。

この関連では産業人として

- 昭和61年4月7日
毎日経済人賞(毎日新聞社)
- 平成元年1月19日
国際貢献者賞(日刊工業新聞社)
- 平成12年11月9日
大阪府商工関係者表彰(大阪府知事)
- 平成14年5月9日
憲法記念日知事表彰(産業功労者)
(大阪府知事)

などの顕彰を受けられました。

また非破壊検査の教育・普及に関する功績も大変大きく、台湾、東欧、中近東、東南アジア、中国の各国へ進出した際には検査工事の実施に加えて、その現場で技術者の教育・指導などを行い各国政府等より感謝されています。イラン国立中央銀行からは、イランに輸入するプラント類関連機材に関する同国初の民間検査会社の認定を受けています。

さらに、若年の頃から安全の心、安全技術を学び、高度技術社会における安全性の高揚を図ることが重要であると考え、高等学校、工業高等学校に安全管理教科が設置されることを願い、工業高等学校の教員の教育、教科書作り、実習装置の開発等に力を注いでこられました。平成9年4月に群馬県立桐生工業高等学校に全国初の「安全管理技術」が選択教科として設けられてから、同様の教科が各地の工業高等学校に開講されるようになってきました。大阪では平成12年4月に府立松原高等学校に「安全管理技術」が選択教科の一つとして設けられました。

このように山口多賀司氏は新産業の創出、放射線安全管理、教育・訓練の広い範囲にわたって多大の業績を残され、今回の受章に至ったものです。